



あなたたちを守りたい

南中図書館だより 11月号

11月20日は、「世界子どもの日」

みなさんに質問です。「子どもの日」はいつでしょう？「5月5日」と答える人が多いと思います。でも、これは日本でのこと。世界の国々ではどうでしょうか。

例えば6月1日。この日は、1925年に子どもの福祉世界会議で「国際子どもの日」と定められました。6月1日を自国の「子どもの日」と定めている国は多いですね。

他には、4月23日(トルコ)や4月30日(メキシコ)など、国によってそれぞれ日が違います。また、特に「子どもの日」を定めていない国(例えばアメリカやイギリスなど)もあるようです。



1989年11月20日、国連総会で「子どもの権利条約」が採択されました。締約国(条約を結んだ国)・地域は196(2019年2月現在/ユニセフHPより)です。下記は「子どもの権利条約」の四つの柱になります。

- ・ 生きる権利 (全ての子どもの命が守られる権利)
- ・ 育つ権利 (自分らしく健やかに育つことができる権利)
- ・ 守られる権利 (あらゆる暴力や搾取、有害な労働などから守られる権利)
- ・ 参加する権利 (自由に意見を言ったり活動したりできる権利)

世界中の子ども達の現在・未来が、幸せなものでありますように。



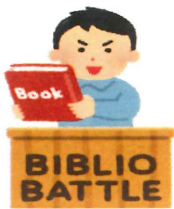
11月11日(木)より、図書館イベントを開催します！

みなさんこんにちは。今年の11月に
図書館で行うイベントは「南中writerコンテスト」
です。この企画ではみなさんに作家に
なってもらう、オリジナルの短編小説を
書いてもらいます！本を読むだけでなく、
書いてみるという違った視点からも本に
触れてみませんか？参加してくださった人には、景品も
用意しているので、是非参加してみてください！
詳細は各クラスに掲示してあるポスターを見てください。



作品の文字数は「200字」以内！イラスト付き小説も大歓迎ですよ！

小説の内容に決まりはありませんが、ほかの人が不快な思いをするような言葉遣い等はやめましょう。



図書館だより de

Bibliobattle

ビブリオバトル!

この本を、
「推し」ます!

みなさん! 第4回(9月)も参加してくれてありがとう!

投票総数146票のうち、66票を獲得した、『ラストで君は「まさか!」と言う』が
第4回チャンプ本に決定しました!

A
「伊賀一の凄腕だけど怠け者な伊賀忍者・無門率いる虎狼の族に、戦国の覇者・最強織田軍が挙兵した! 圧倒的な兵力の差に、誰もが終わったと悟る戦のなかで、無門たち伊賀忍者の華麗なる逆転劇の幕が開く。」 (3年生)



書名: 『忍びの国』
作者名: 和田 竜

C
「この話は、登場人物のタイムトラベラーという人が、時間旅行をするお話です。見どころは、その人のタイムマシンが未来人に隠されてしまって、未来で知識をふりしぼって、帰る方法や未来人の特徴について考えるところです。」 (1年生)



書名: 『タイムマシン』
作者名: H・G・ウェルズ

E
「アパート唯一のクーラー付き四畳半を手に入れた主人公だが、同級生がクーラーをこぼし、リモコンが壊れた!? その極楽を取り戻すべく、突如現れたタイムマシンを使い・・・読んでいる途中でも読み返したくなり、思わず笑ってしまう本です!」 (2年生)



書名: 『四畳半タイムマシンブルース』
作者名: 森見 登美彦

B
「この『猫川柳 徒然ニャン』という本は、猫好きにはたまらない本です。猫たちが五・七・五で、すごいことを語っていて、とてもおすすめです。最後にはマンガもあります。ぜひ読んでみてください。」 (2年生)



書名: 『猫川柳 徒然ニャン』
作者名: 猫川柳編集部

D
「私が紹介したい本は、『えんとつ町のプペル』です。この本を選んだ理由は、とてもきれいなイラストで描かれていて、心を惹かれたからです。本が苦手な人でも読みやすいと思うので、ぜひ読んでみてください。」 (1年生)



書名: 『えんとつ町のプペル』
作者名: にしの あきひろ

F
「テーマは先入観。小学生の主人公たちの鋭い視線と柔軟な思想は、私たちの世界を広げてくれます。予想を裏切る展開で、読み手の先入観は崩れていくでしょう。全ての人々に関わるテーマのため、感情移入しやすく、作品の中にのめりこめました!」 (3年生)



書名: 『逆ソクラテス』
作者名: 伊坂 幸太郎

